

# 県東部地域県立武道館（仮称） 設計概要

令和 6 年 6 月

# 1. 施設の概要

- ・ 武道競技の全国大会が開催可能な総合武道館
- ・ 球技など多目的に利用できる施設

|                     |                                                                                                                 |      |           |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 整備場所                | 岩国市平田（岩国運動公園内）                                                                                                  |      |           |
| 建築面積                | 7,032.59㎡                                                                                                       | 延床面積 | 9,958.32㎡ |
| 構造                  | 鉄筋コンクリート造＋鉄骨造＋木造                                                                                                |      |           |
| 主道場                 | ・ 競技フロア 44m×46m<br>柔道・剣道・空手 6面、なぎなた 4面<br>バスケットボール・ハンドボール・バレーボール 2面<br>バドミントン 8面、卓球 10面<br>・ 固定席 1,003席(車いす席含む) |      |           |
| 小道場                 | ・ 競技フロア 15m×47m<br>柔道・剣道・空手・なぎなた 3面<br>・ 固定席 153席(車いす席含む)                                                       |      |           |
| 弓道場<br>(近的)<br>(遠的) | ・ 12人立<br>・ 3人立（練習用）<br>・ 固定席 103席(車いす席含む)                                                                      |      |           |
| 諸室                  | ・ 事務室、医務室、応接室、研修室、会議室、放送室 等                                                                                     |      |           |
| 駐車場                 | ・ 建物西側 一般用80台、大型バス用4台、車いす用3台<br>・ 第4駐車場 一般用42台                                                                  |      |           |

## 2. 施設の特徴

### （1）多目的に利用できる県民スポーツの拠点となる武道館

- 県民がスポーツ活動に参加できる機会の拡大を図るため、自らのライフステージに応じてスポーツを楽しめるよう、多種多様なスポーツに親しむことのできる施設づくり
- 武道競技の拠点の整備を行うことで、競技人口の増加や選手の育成・強化につなげ、青少年の健全育成や競技力向上に貢献

### （2）交流人口の拡大と地域活性化に資する武道館

- 本施設と岩国市総合体育館の相互利用による施設の機能強化を図ることで、これまで開催が困難であった全国大会等の大規模大会を誘致し、交流人口の拡大や県東部地域の活性化に貢献する施設
- 日本の伝統文化である武道など、スポーツを通じた日米等の国際交流を促進することで、多文化共生によるまちづくりを推進

### （3）将来の負担が過大とならないコンパクトな武道館

- 隣接する岩国市総合体育館との相互利用を前提とし、コンパクトで、将来的に維持管理の負担が過大とならない施設
- 省エネルギーや施設の更新・修繕に配慮した施設

### （4）地域の景観に協調した武道館

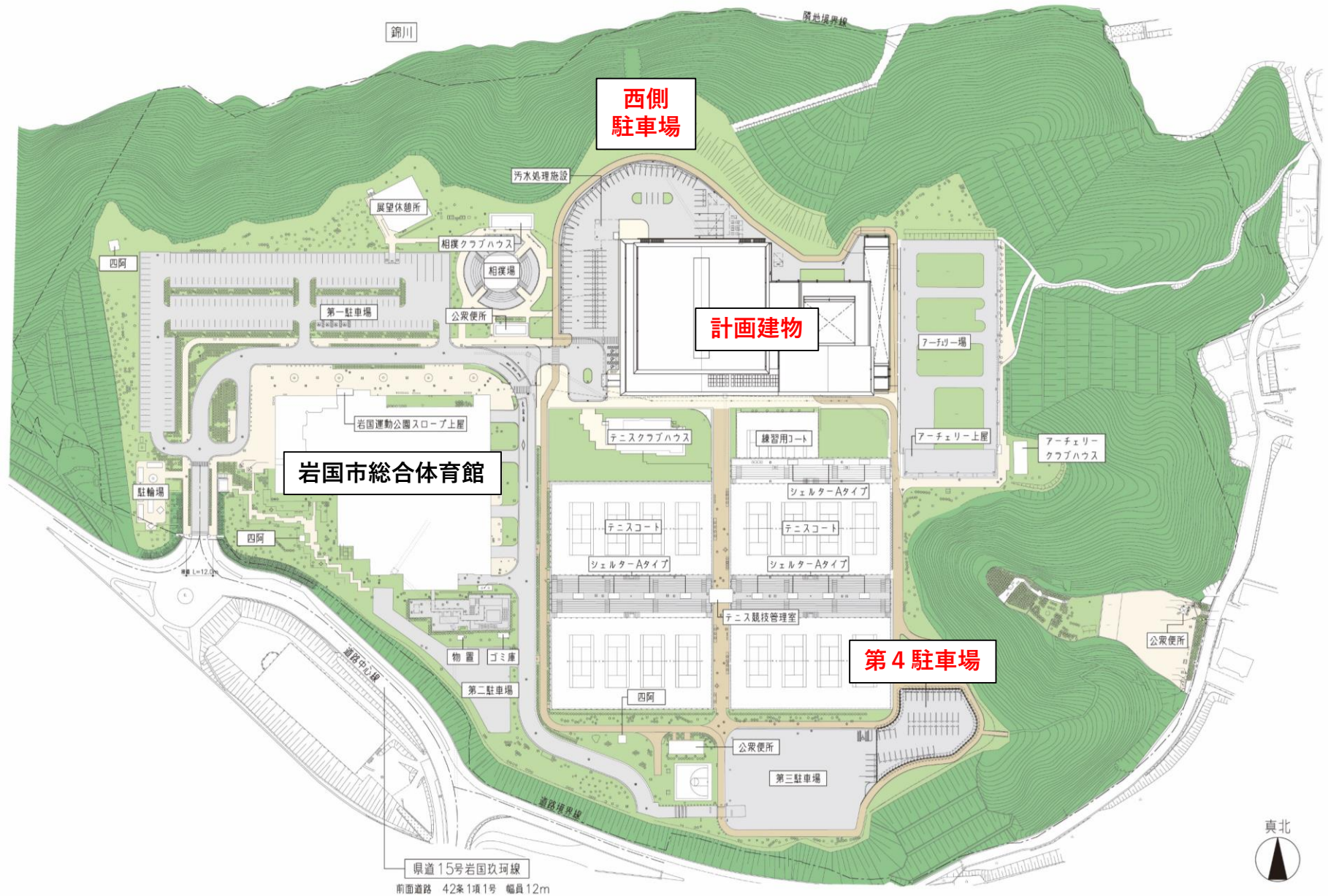
- 主道場の屋根構造は、木材の積極的利用や建設コストを考慮し木造アーチ構造を採用
- 主道場の屋根に呼応する低層部のアーチ状の屋根は、武道とスポーツのもつ躍動感とダイナミズムを表現



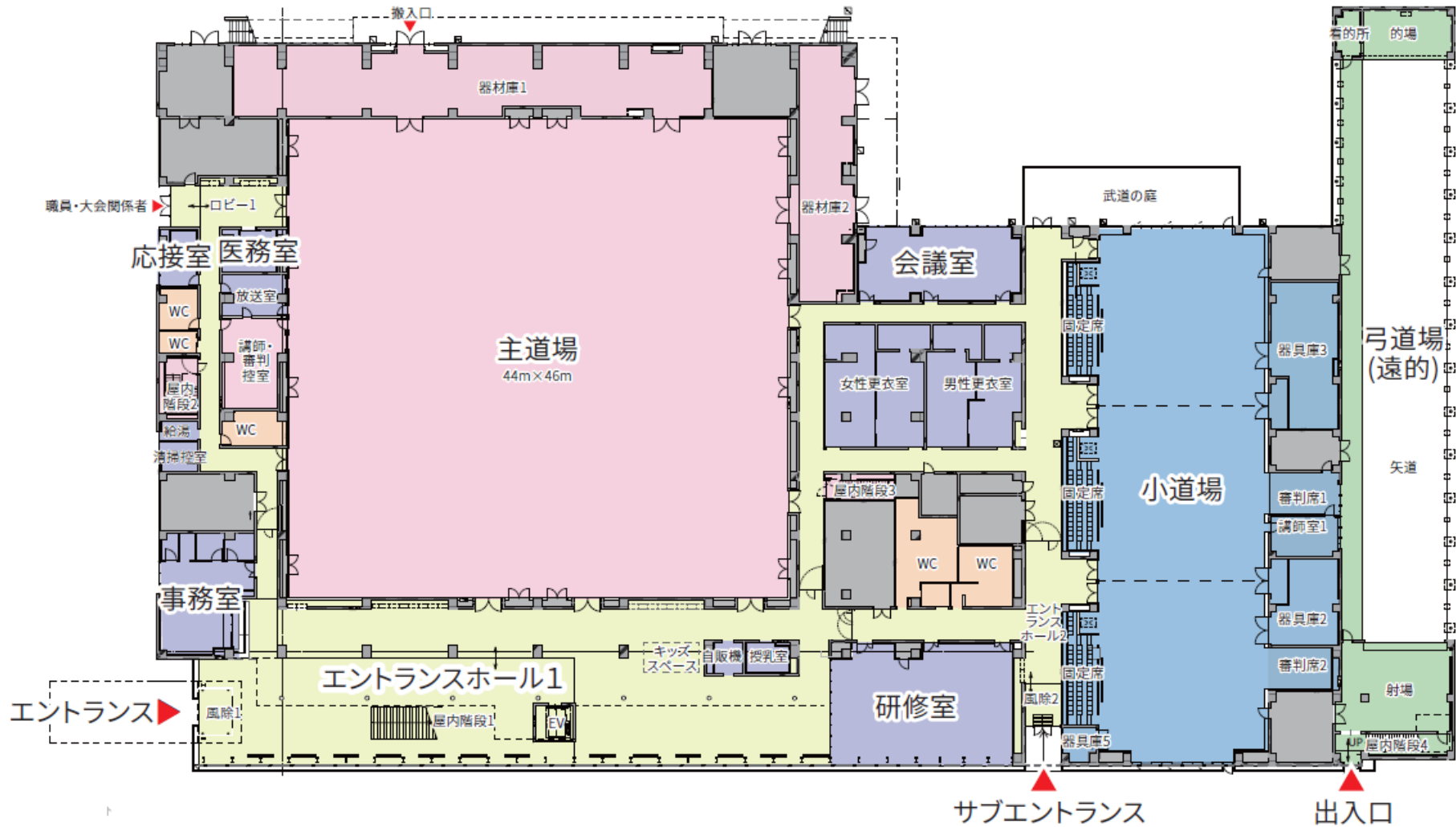
### 3. 配置計画



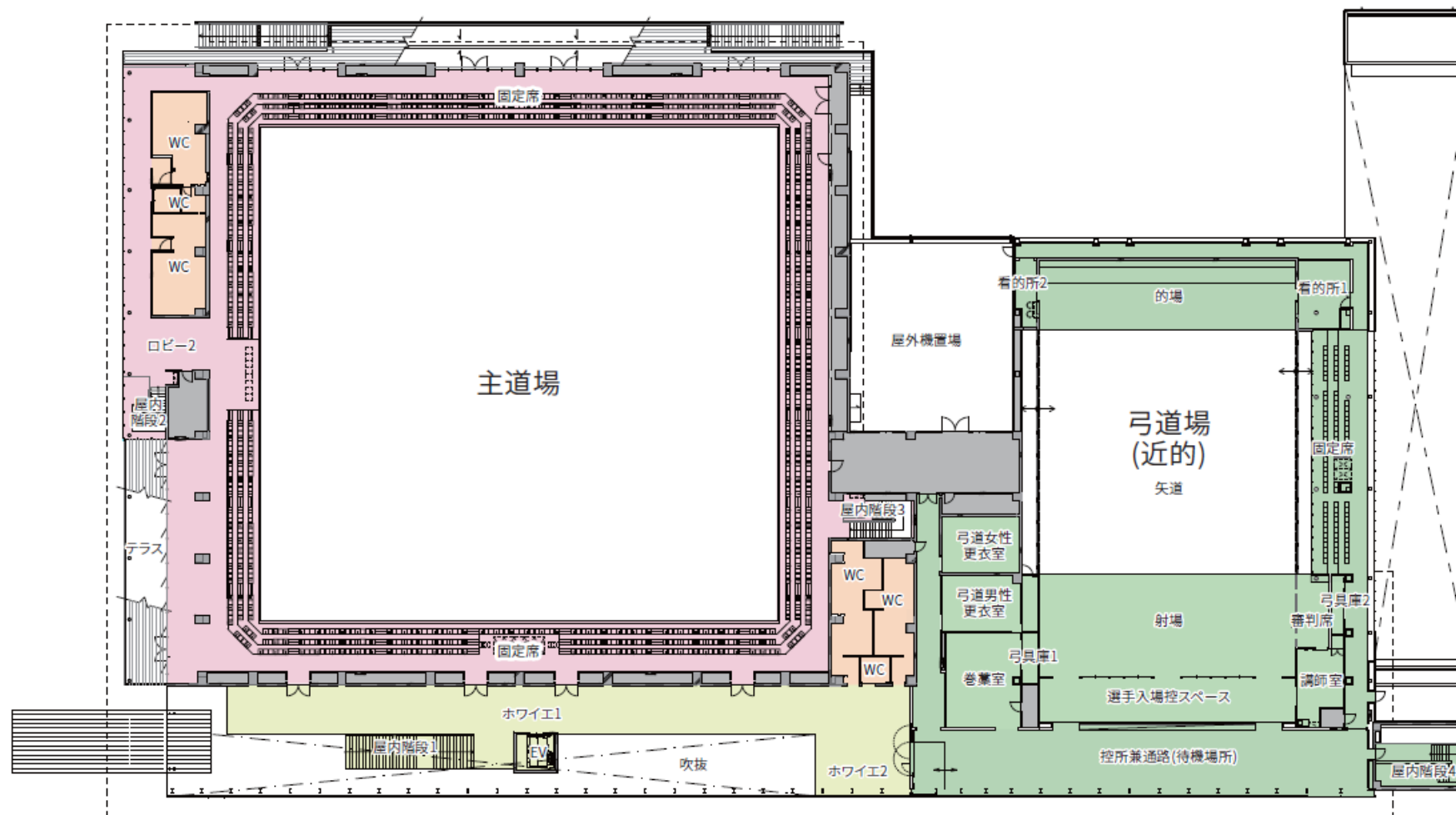
### 3. 配置計画



## 4. 平面図 (1階)



## 4. 平面図 (2階)



## 5. イメージ図 (主道場)

～大空間のダイナミズムを表現した木造アーチ構造～



固定席 : 1003席(車椅子席を含む)  
競技フロア : 44m × 46m  
最高天井高さ : 16.9m

## 5. イメージ図 (小道場)

～公式試合や日常的な利用が可能～



固定席 : 153席(車椅子席を含む)  
競技フロア : 15m × 47m  
(柔道3面、剣道3面、空手3面)  
最高天井高さ : 4.0m  
※可動間仕切りにより3分割可能

## 5. イメージ図（弓道場・近的）

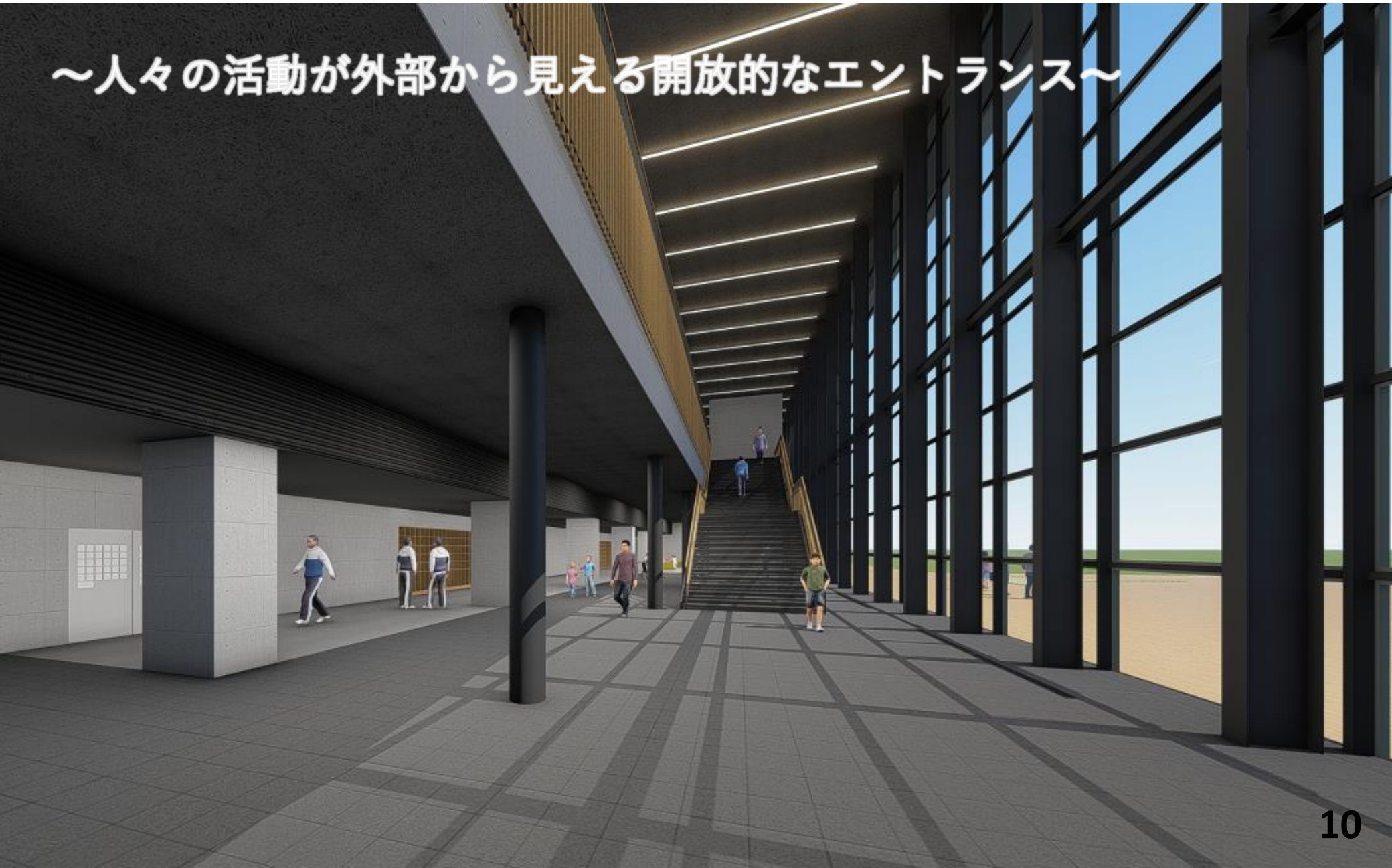


~公式試合や日常的な利用が可能~

固定席 : 103席(車椅子席を含む)  
競技フロア : 12人立  
最高天井高さ : 4.0m

## 5. イメージ図（エントランスホール）

～人々の活動が外部から見える開放的なエントランス～



## 6. 事業費（見込）

約 8 0 億円（うち、新築工事費 約 7 2 億円）

※再編関連特別地域整備事業（県交付金）を活用

※令和 6 年 6 月時点での試算であり、資材価格等の動向により変動があり得る

## 7. 整備スケジュール（予定）

